No.33 2024年7月14日 部落解放を祈る主日礼拝 説教『ここに一人の少年がいますが…』 山根真三師 市 川 真美恵 さん 司会 奏 楽 招 使徒行伝 2章44~47節 主 (564) \mathcal{O} 祈 詠 5 4 6 詩 119編 25~32節 読詩 編 祈 讃 美 歌 21 - 7 4 (566)徒信条 聖 書 ヨハネ福音書 6章1~15節 説 教(口語訳145頁、新共同訳174頁) ここに一人の少年がいますが…』

14.1	耳り上	<u> </u>	. /1./	C - AAA - 21	7. H. H. I	
後		奏				
祝		祷				
報頌祝		栄	5	4	0	
報		告				
感		謝				
献		金				
讃	美	歌	1	4	5	
祈		祷				

次週の礼拝 (三位一体後第八主日礼拝) 説教『地の塩、世の光であり続け…』 マタイによる福音書5章13~16節 招詞エペソ書5章8~10節/交読詩篇119編 讃美歌546、21−7、361、541/↑33~40節

礼拝当番今週 14 日 司会市川さん献金神笠さん次週 21 日 司会長本さん献金根角さん会 堂 清 掃 奉 仕7月 19日 (金)午後4時~めぐみ幼稚園保育者

●水平社宣言を熟読しましょう。

本日の集会

★教 会 学 校午前9時45分★出会いのひととき礼拝後~

市 川 真美恵 さん **それぞれの思いを語り合いましょう。** 白 石 百合子 さん **§**広島府中教会大月純子牧師就任式 7月14日(日)14:30~

- 今週の集会/スケジュール ▲広島平和記念慰霊コンサート 7月15日(月) 10:00~ 於: 原爆ドーム前
 - めぐみ幼稚園年長さんも参加します。
- ▲広島平和記念ハンドベルフェスティバル 7月 15日(月)14:00~ 会場:広島バプテスト教会 四国からもリンガーズが参加されます。
- §福山延広教会新会堂献堂式 7月15日(月)13:00~ おめでとうございます。
- §広島拘置所教誨奉仕 7月17日(水)13:30~16:00 施設にある方の信仰生活を覚えてお祈り下さい。
- 参めぐみ幼稚園終業式 7月18日(木)10:00~
 一学期の歩みを終えます。心から感謝
- **�**めぐみ幼稚園お泊り保育 7月18日(木)13:00~19 日(金)大朝祈りの家に行きます。覚えてお祈り下さい。

§社会を明るくする運動西地区推進大会 7月20日 次週以降のスケジュール等

- ●レコードコンサート 7月21日(日)13:00~15:30
- §日本基督教団教誨師研修会 7月22日(月)~23日
- (火) 会場:東京山手教会

○ 7月教会役員会報告

- 1. 教区通信により教区内の情報を交換した。
- 2. 分区交換講壇に参加することを決定した。
- 3.5月分会計報告を承認した。

(司会当番) 7/21 長本さん、7/28 高橋さん、8/4 吉丸さん

8/11 神等さん、8/18 根角さん、8/25 市川さん、9/1 神等さん

9/11 並とが								
先週の集会	男	女	計					
教会学校	0	0	0					
主日礼拝	3	10	13					

◇今週の説教要旨(部落解放を祈る主日礼拝) 『ここに一人の少年がいますが…』コハネ福音書6章1~15節

人はどこに生きているか、それによって思いが種 々変わっているようです。その思いによって人は差 別的な発想に気づかなかったり、深い思いを与えら れたりするのではないだろうか。私は北海道のこと を殆ど知らないので、最近報道されたアイヌ差別が 厳然として存在していることに驚きを禁じ得なかっ た。小さな差別はままあるけれども明確な差別が厳 然と存在していることが示された。アイヌ差別につ いては殆ど意識なしで過ごしていた。本当に申し分 けないと思った。人はどうして差別を当たり前のよ うに考え、生きてしまうのだろうかと思うのだ。役 員会で今日の礼拝について少し話し合った。そこで 語られたことは、被差別部落の方はどのように感じ ているのだろうかということだった。私は神戸六甲 の被差別部落の近くで生活していたので、幾つかの 課題に出会うことがあった。現在ほどに差別のこと が教えられていなかった小学生の頃、幾つか疑問に 覚えたこともあった。差別の一つであったことが今 知ることが出来る。今の思いがあの頃にあればもっ と深く関わり、理解しあうことが出来ただろうと。

最高裁の判決が出た。旧統一教会の献金についての念書についてだった。これらのことから私たちがとても大事にしてきた信仰の継承が問題視されたりしているのだが、私の信仰不足なのだろう。継承が正しく実現できないでいる。信仰二世は被害者として一般的には報道されるが、果たしてそうなのだろか。私はイエスさまに感動的、存在を支えて下さる方として出会った。そんなイエスさまを子どもに宏えることはとても大きな喜びなのだが。イエスを求めて多くの人々が集まった。イエスはそんな人々のことを慮って食事の心配をした。そんなイエスの対応に準備できたのが、子どもの持っている5つのパンと2匹の魚でしかなかった。それで十分だった。